

防災に関する意識調査 集計表

目 次

(1)	概 要 P. 1
(2)	アンケート内容 P. 2
(3)	集計結果	
	回答属性 P. 4
	各質問集計表 P. 6
	その他意見 P.11
(4)	参考データ P.14

橘町まちづくり推進協議会

平成26年11月

(1) 概要

1. 目的

平成24年度に策定した『橋町コミュニティプラン2012』の活動方針のひとつである「安全安心なまちづくり」の取り組みとして、平成26年度より3カ年計画で町内各区において自主防災体制の確立事業を実施するにあたり、町民の防災意識を把握するために実施した。

2. 対象 町内全戸

3. 方法 区ごとに区長さんを通じ配布・回収していただいた。

4. 実施時期 平成26年10月

5. 回収結果

町内全戸数(平成26年4月1日現在)	755 戸
回収戸数	549 戸
回収率	72.7 %

区ごと回収状況

	戸数	回収戸数	回収率
二 俣	22	14	63.6%
沖 永	36	34	94.4%
鳴 瀬	59	33	55.9%
釈迦寺	41	30	73.2%
片 白	44	41	93.2%
南片白	86	76	88.4%
大 日	36	34	94.4%
納 手	48	27	56.3%
潮 見	26	22	84.6%
上 野	160	76	47.5%
小野原	64	63	98.4%
南檜崎	78	49	62.8%
北檜崎	55	50	90.9%
合 計	755	549	72.7%

日頃より、橋町まちづくり推進協議会の活動につきましては、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、当協議会では「楽しく住みよいまちづくり」を目指して、平成24年度に新たに『橋町コミュニティプラン2012』を策定し、その実現に向けて各種事業に取り組んでいます。

『橋町コミュニティプラン2012』の活動方針のひとつである「安全安心なまちづくり」の取り組みとして、今年度より3カ年計画で各区において自主防災組織体制の確立を行いたいと考えています。

つきましては、町民の皆様の防災に関する意識を把握し、今後の施策に活かすべくアンケートを実施させていただきます。あなたのご意見が、今後の橋町のまちづくりに繋がって行きます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、このアンケート用紙は各世帯に1部配布しています。

【記載上の注意】

・それぞれの質問に対し、いちばんあてはまると思うものの番号を○で囲ってください。

1 “あなた” のことについて、ご記入ください。

【性別】 1. 男性 2. 女性

【年齢】 1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

【地区名】 []

2 あなたの同居のご家族は何名ですか。(ご本人を含め)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上

3 あなたは、自然災害に対しての不安はありますか。

1. ある 2. 少しある 3. 不安はない 4. わからない

4 Q3で「1.ある 2.少しある」と回答された方に質問です。どのような災害が不安ですか。

【複数回答可】

1. 地震 2. 豪雨 3. 台風 4. 落雷 5. 土砂災害 6. 河川の氾濫

5 あなたは、防災・減災に対して日頃から意識していますか。

1. している 2. 少ししている 3. していない 4. わからない

6 あなたは、自分の地区の避難場所を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

7 あなたは、災害情報をどのような手段で取得していますか。【複数回答可】

1. テレビ・ラジオ 2. ケーブルテレビ 3. インターネット 4. 防災行政無線
5. 武雄市ホームページ 6. 学校からのメール 7. 県防災ネット「あんあん」 8. 地区役員や近所の方

裏面につづきます。裏面にもご記入ください。

8 防災行政無線は聞こえましたか。

1. よく聞こえた 2. 聞こえた 3. 聞こえたが放送内容が聞き取れない 4. 聞こえない

9 あなたは、非常持出し品を準備していますか。

1. している 2. していない

10 Q9で 1.している と回答された方に質問です。準備しているものは何ですか。【複数回答可】

1. 飲料水 2. 食料品 3. 医薬品 4. 懐中電灯 5. ラジオ 6. 衣類 7. 電池
8. コンロ、マッチ、ロウソク

11 あなたは、ご家族やご近所の方と防災のことについて話し合いをしたことはありますか。

① 家族： 1. ある 2. ない

② 近所： 1. ある 2. ない

12 Q11で 1.ある と回答された方に質問です。何について話し合われましたか。【複数回答可】

1. 避難場所、避難方法 2. 非常持出し品、非常備蓄品 3. 地区内の危険箇所
4. 災害時における家族との連絡方法

13 自主防災組織という言葉を知っていますか。

1. 知っている 2. なんとなく知っている 3. 知らない 4. わからない

14 自主防災組織の設立について必要性はあると思いますか。

1. 思う 2. まあまあ思う 3. 思わない 4. わからない

15 自主防災組織についての講演会・講習会・訓練等が開催されれば参加しますか。

1. 参加する 2. 時間があれば参加する 3. 参加しない 4. わからない

16 その他、防災に関するご意見等をご自由にお書き下さい。

（空欄）

☆ アンケートにご協力いただきありがとうございました。

不明な点等がございましたら、橘公民館へお問い合わせください TEL 22-3884

◎アンケート回収方法

アンケート記入後は各班の班長さんへ10月15日までに提出をお願いします。班長さんは、取りまとめのうえ区長さんまで提出をお願いします。

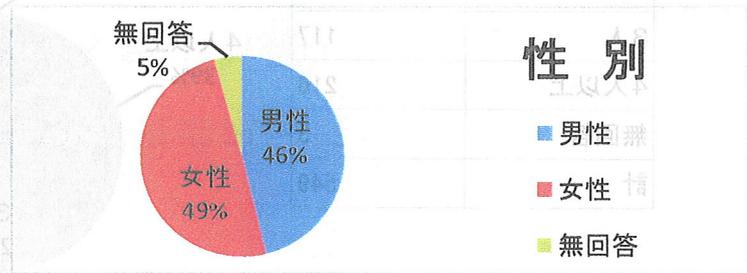
(3) 集計結果

回答者属性

1. “あなた”の事について、ご記入ください。

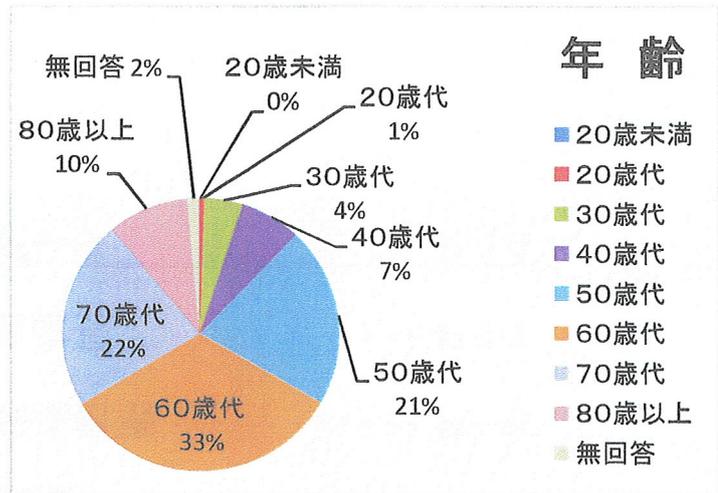
① 性別

男性	254
女性	271
無回答	24
計	549



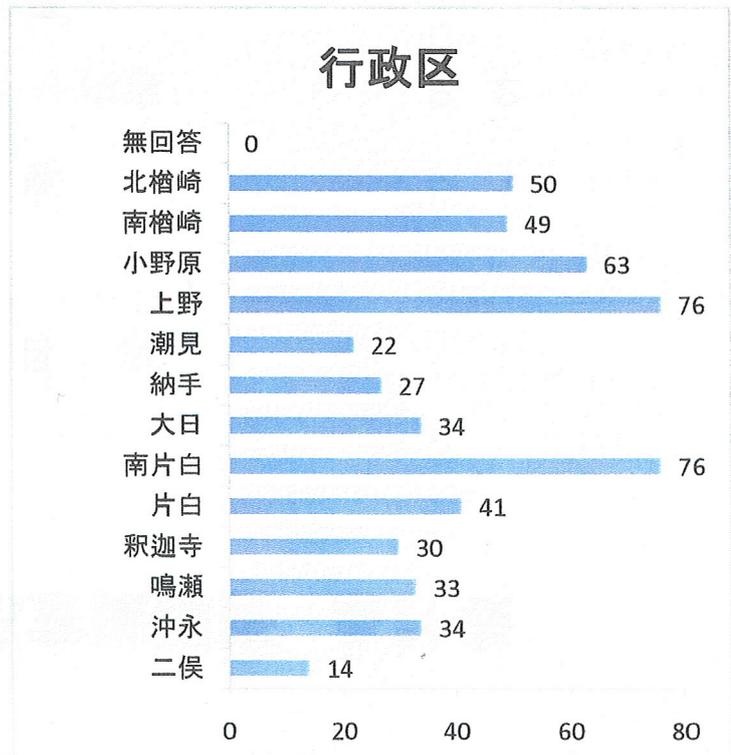
② 年齢

20歳未満	0
20歳代	3
30歳代	24
40歳代	39
50歳代	117
60歳代	182
70歳代	123
80歳以上	53
無回答	8
計	549



③ 行政区

二俣	14
沖永	34
鳴瀬	33
釈迦寺	30
片白	41
南片白	76
大日	34
納手	27
潮見	22
上野	76
小野原	63
南檜崎	49
北檜崎	50
無回答	0
計	549

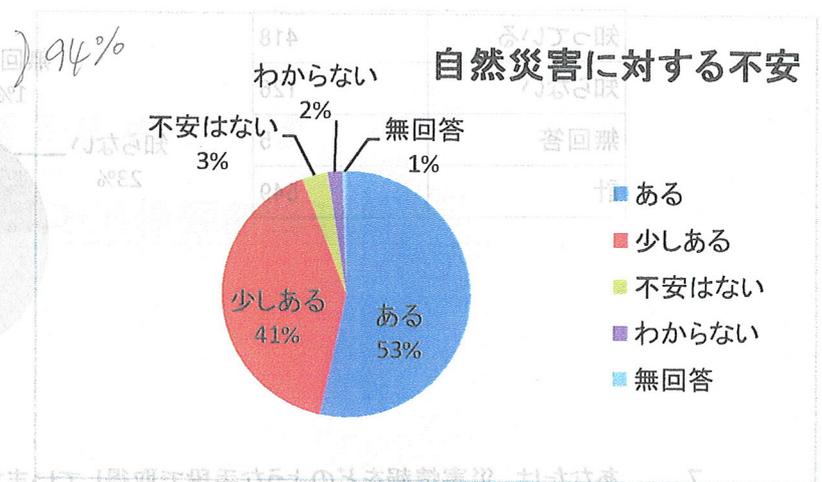


各質問集計表

各種質問調査

3. あなたは、自然災害に対する不安はありますか。

ある	293
少しある	224
不安はない	18
わからない	11
無回答	3
計	549

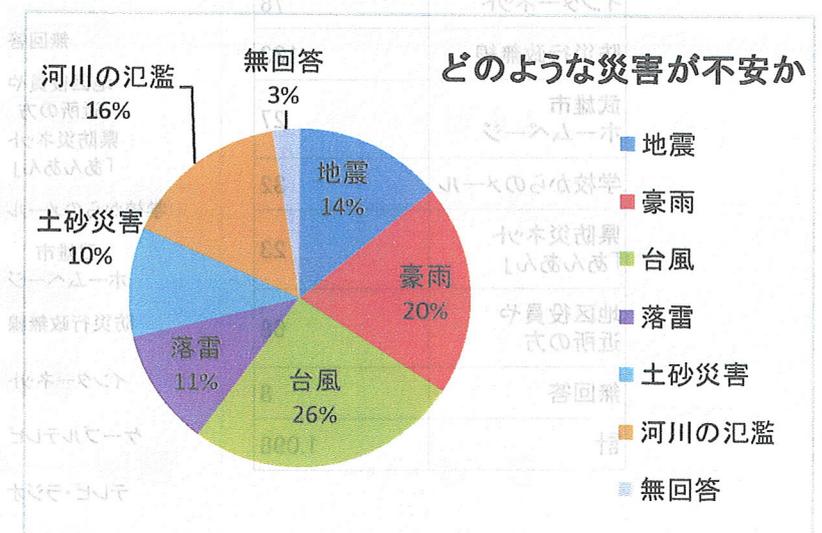


【回答回数】

災害発生時の被害

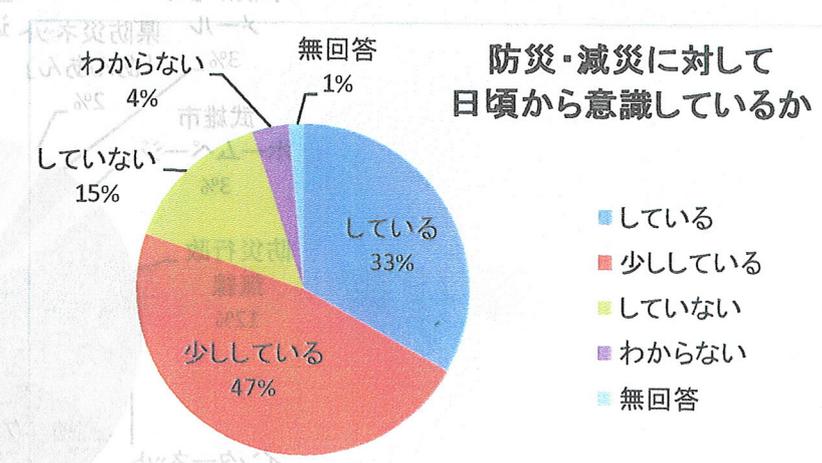
4. Q3で「1. ある 2. 少しある」と回答された方に質問です。どのような災害が不安ですか。【複数回答可】

地震	184
豪雨	264
台風	341
落雷	147
土砂災害	137
河川の氾濫	206
無回答	35
計	1,314



5. あなたは、防災・減災に対して日頃から意識していますか。

している	182
少ししている	259
していない	80
わからない	20
無回答	8
計	549

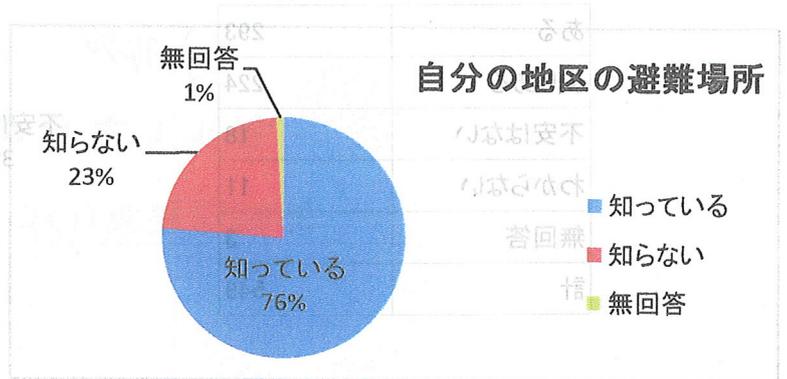


各質問集計表

各質問集計表

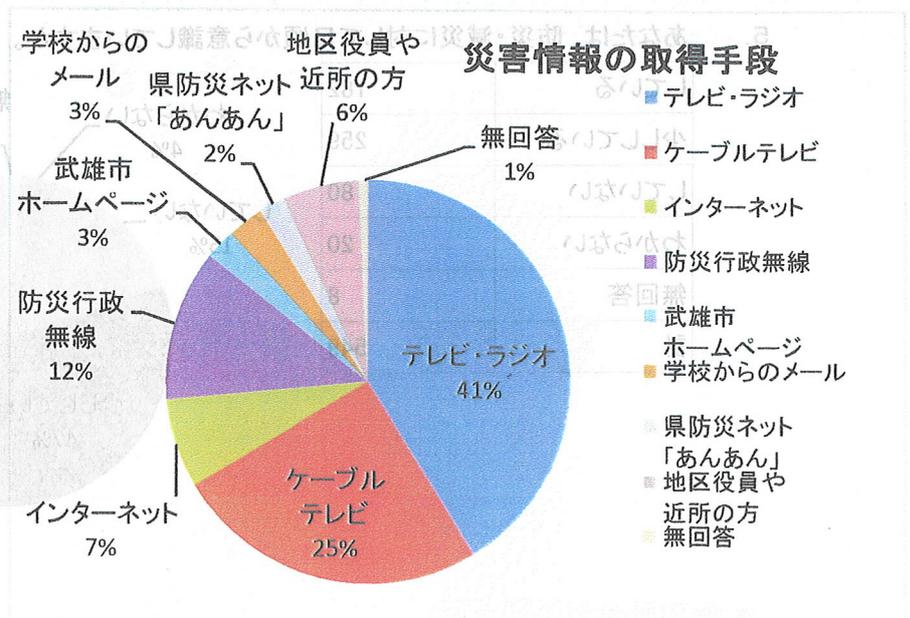
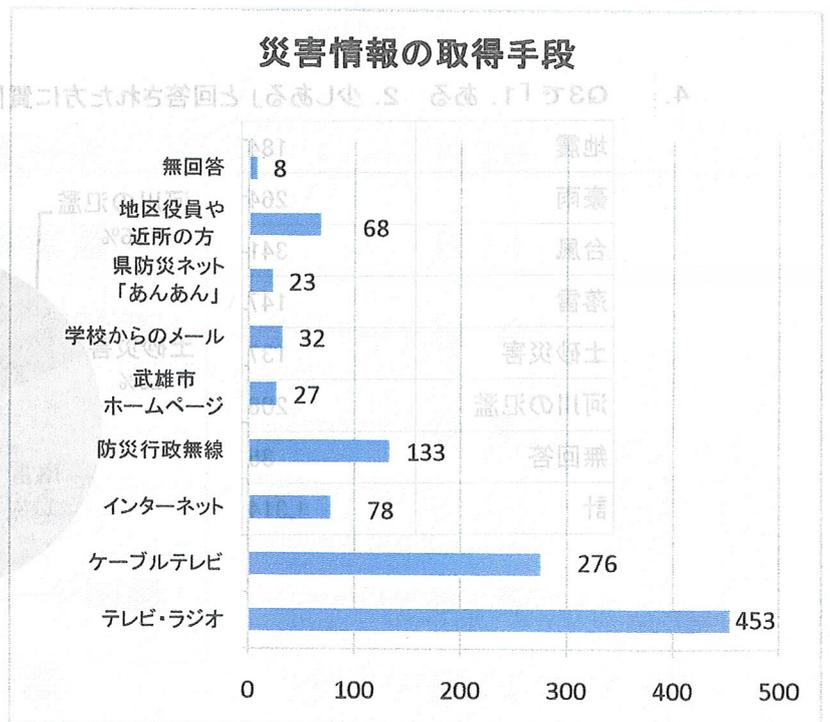
6. あなたは、自分の地区の避難場所を知っていますか。

知っている	418
知らない	126
無回答	5
計	549



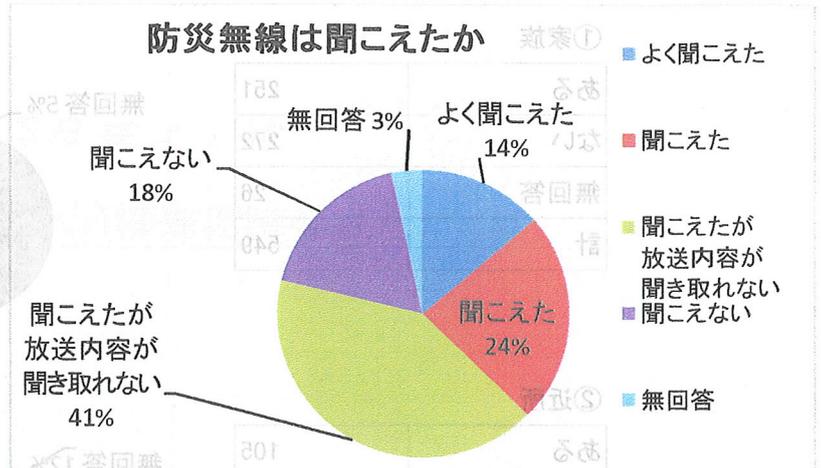
7. あなたは、災害情報をどのような手段で取得していますか。【複数回答可】

テレビ・ラジオ	453
ケーブルテレビ	276
インターネット	78
防災行政無線	133
武雄市 ホームページ	27
学校からのメール	32
県防災ネット 「あんあん」	23
地区役員や 近所の方	68
無回答	8
計	1,098



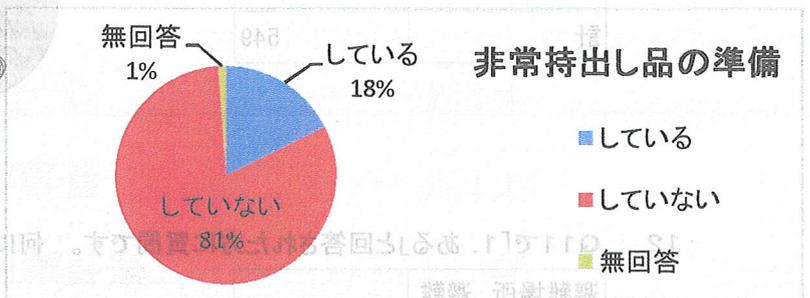
8. 防災行政無線は聞こえましたか。

よく聞こえた	75
聞こえた	130
聞こえたが放送内容が聞き取れない	227
聞こえない	98
無回答	19
計	549



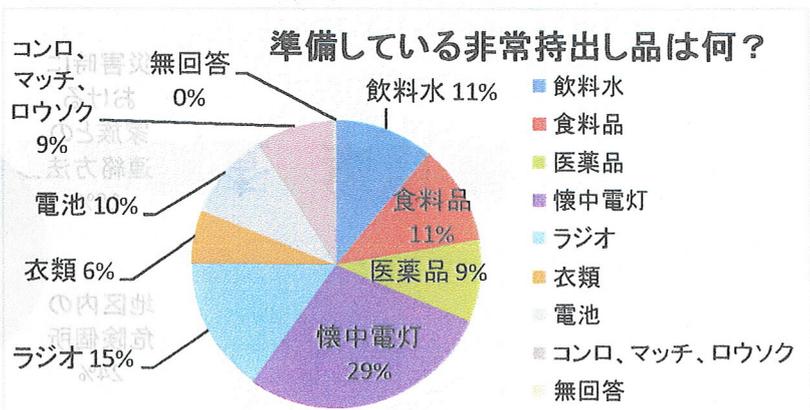
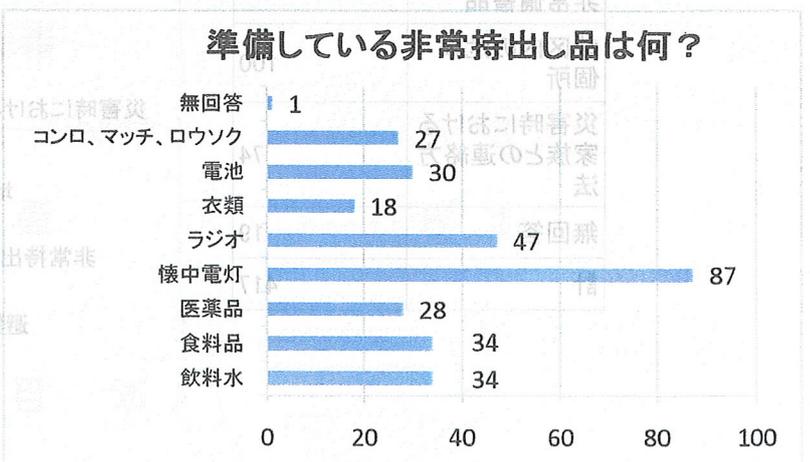
9. あなたは、非常持出し品を準備していますか。

している	97
していない	446
無回答	6
計	549



10. Q9で「1. している」と回答された方に質問です。準備しているものは何ですか。【複数回答可】

飲料水	34
食料品	34
医薬品	28
懐中電灯	87
ラジオ	47
衣類	18
電池	30
コンロ、マッチ、ロウソク	27
無回答	1
計	306



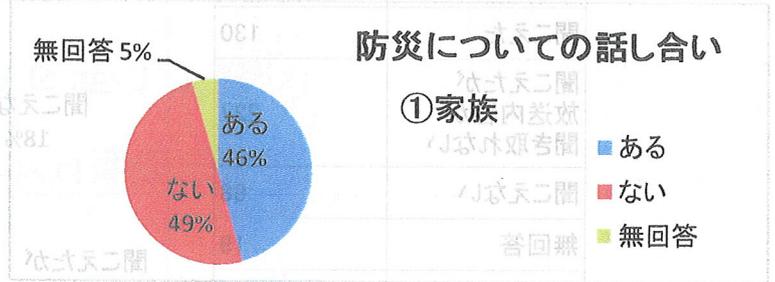
各質問集計表

表情業問質各

11. あなたは、ご家族やご近所の方と防災のことに話し合いをしたことはありますか。

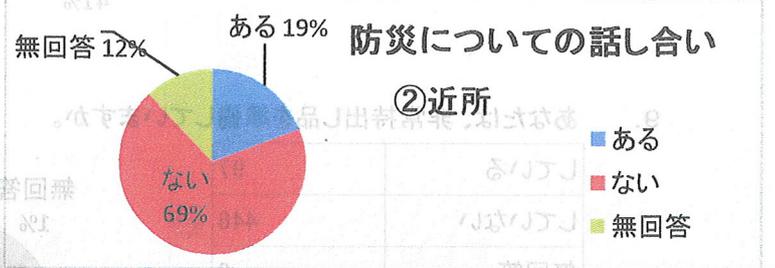
①家族

ある	251
ない	272
無回答	26
計	549



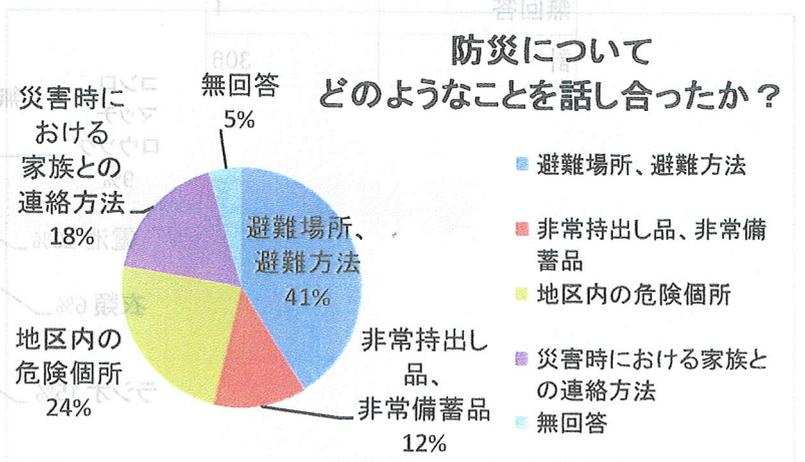
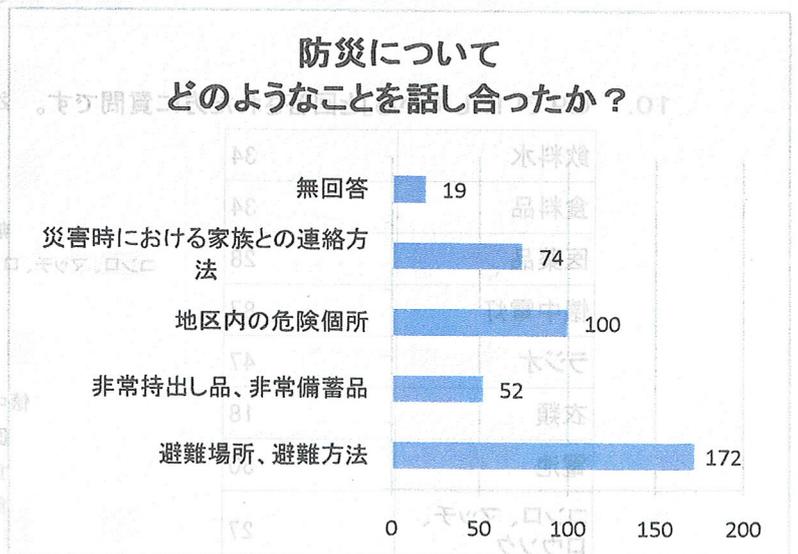
②近所

ある	105
ない	378
無回答	66
計	549



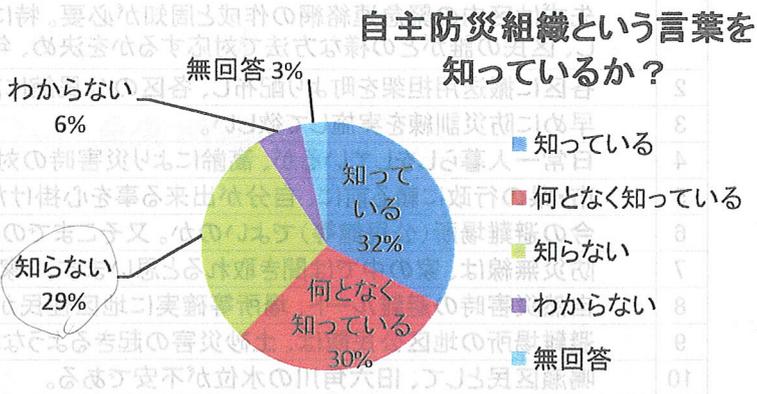
12. Q11で「1. ある」と回答された方に質問です。何について話し合われましたか。【複数回答可】

避難場所、避難方法	172
非常持出し品、非常備蓄品	52
地区内の危険箇所	100
災害時における家族との連絡方法	74
無回答	19
計	417



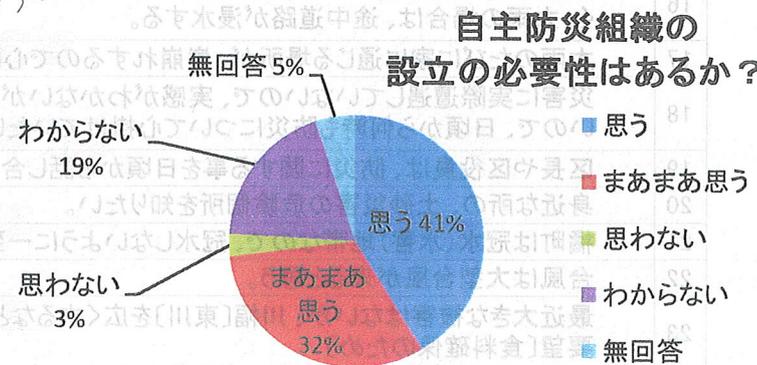
13. 自主防災組織という言葉を知っていますか。

知っている	179
何となく知っている	162
知らない	157
わからない	32
無回答	19
計	549



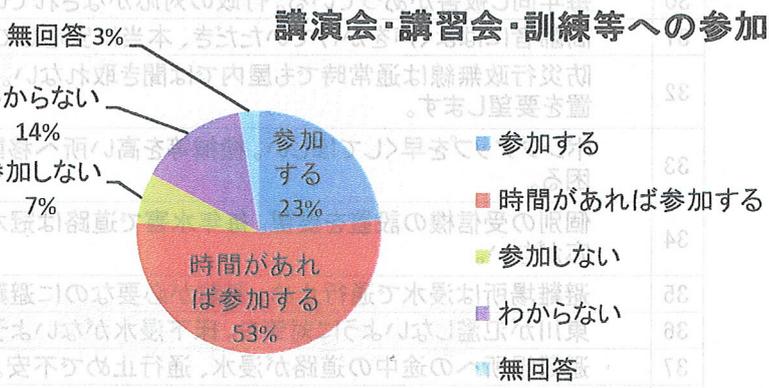
14. 自主防災組織の設立について必要性はありますか。

思う	227
まあまあ思う	174
思わない	16
わからない	104
無回答	28
計	549



15. 自主防災組織についての講演会・講習会・訓練等が開催されれば参加しますか。

参加する	128
時間があれば参加する	290
参加しない	37
わからない	79
無回答	15
計	549



その他意見

16. その他、防災に関するご意見等をご自由にお書き下さい。

NO	内 容	行政区	性 別
1	まずは区内の緊急連絡網の作成と周知が必要。特に高齢者のみの家庭や独居老人に対し、区民の誰がどの様な方法で対応するかを決め、年に1回は訓練を実施すべきである。	二 俣	男性
2	各区に搬送用担架を町より配布し、各区の公民館に設置して欲しい。	二 俣	男性
3	早めに防災訓練を実施して欲しい。	二 俣	男性
4	日常一人暮らしをしているが、高齢により災害時の対応が困難である。	二 俣	女性
5	市・県の行政に頼る前に、自分が出来る事を心掛けたい。	沖 永	男性
6	今の避難場所(公民館等)でよいのか。又そこまでの避難方法について不安がある。	沖 永	男性
7	防災無線は、家の中では聞き取れると思います。(家の中がよく聞き取れる)	沖 永	男性
8	自然災害時の避難ルート、場所等確実に地区住民が把握し、対応できる様な指導が必要。	沖 永	男性
9	避難場所の地区公民館は、土砂災害の起きるような場所に建っており適切な場所はない。	鳴 瀬	男性
10	鳴瀬区民として、旧六角川の水位が不安である。	鳴 瀬	男性
11	揚水ポンプが事務所より強制停止された場合、鳴瀬地区は中洲である。	鳴 瀬	男性
12	防災無線ラジオを購入したい。	鳴 瀬	女性
13	防災無線が聞こえるようにして欲しい。	鳴 瀬	女性
14	毎年同じ場所で、水害が起こるので対処してほしい。	鳴 瀬	女性
15	避難場所の地区公民館は、安全か？	鳴 瀬	女性
16	釈迦寺区の避難場所は遠く、自治公民館の裏は崖があり危険。橋小ではお年寄りには遠く、大雨の場合は、途中道路が浸水する。	釈迦寺	女性
17	大雨のたびに家に通じる場所が、崖崩れするので心配で困っており、何とかお願いします。	釈迦寺	女性
18	災害に実際遭遇していないので、実感がわかないが、何時、どんな風に遭うかも分からないので、日頃から何時も防災について心掛けていたい。	釈迦寺	女性
19	区長や区役員は、防災に関する事を日頃から話し合って欲しい。	釈迦寺	女性
20	身近な所の、土砂災害の危険個所を知りたい。	釈迦寺	女性
21	橋町は冠水(水害)地帯なので、冠水しないように一致団結して、行政に要望して欲しい。	釈迦寺	女性
22	台風は大型台風が来ると思う。	片 白	女性
23	最近大きな被害はないが、川幅[東川]を広くするなど根本的な対策を要望。又スーパーも要望[食料確保のため]	片 白	男性
24	杵島山山すそに居住。橋方面には崩れないと昔から聞いているが、調査を要望。	片 白	男性
25	東川の排水ポンプを倍以上に要望する。	片 白	男性
26	地区の神社の大木が台風の強風で家の方向に倒れたら危険でる。	片 白	女性
27	国道498号の水害を解消すべき。	南片白	男性
28	非常持ち出しを準備し、家族と避難方法について確認したい。	南片白	女性
29	大水がないように排水ポンプを大きくしてください。	南片白	男性
30	毎年同じ被害があっている。行政の対応がなされていない。	南片白	男性
31	高齢者にはよく声をかけていただき、本当に安心しています。	南片白	女性
32	防災行政無線は通常時でも屋内では聞き取れない。非常時のためには屋内設置の各戸設置を要望します。	南片白	男性
33	ポンプアップを早くしてほしい。機械等を高い所へ移動させるなど、一晩中、水位の確認で困る。	南片白	女性
34	個別の受信機の設置を要望。毎年水害で道路は冠水で地区は孤立するが、行政は何も対応がない。	南片白	不明
35	避難場所は浸水で通行止め。避難が必要なのに避難できない。行政の対応もない。	南片白	男性
36	東川が氾濫しないように対策を。床下浸水がないようにしてください。	南片白	男性
37	避難場所への途中の道路が浸水、通行止めで不安。	大 日	男性
38	講習会も役員だけでなく、地区内で実施すべき。	大 日	男性
39	町内全地区の自主防災網の整備により防災組織のネットワーク化を図り、近隣地区との連携が強化できる。	納 手	男性
40	防災無線は聞こえづらい。嬉野市は各家庭に防災無線機を置いてあるので、武雄市も設置してもらいたい。	納 手	男性

その他意見

NO	内 容	行政区	性 別
41	避難場所も生活用品の確保も必要と思います。	納 手	男性
42	アンケート結果は必ずお知らせください。	納 手	女性
43	避難場所が分からない。地区の公民館も川の氾濫でダメだと思うのでどこへ行けば良いか分からない。	納 手	女性
44	水害の場合、地区の避難場所は利用できない。その他の災害はいいが。	納 手	男性
45	市の防災無線で助かっています。	納 手	女性
46	早く行動しよう。	納 手	女性
47	防災無線は降雨の際、雨音と家の窓を閉めているため、チャイムは聞こえるが内容は聞こえづらい。女性の高い声で放送を。	潮 見	男性
48	防災無線は外に居ると聞こえるが、家の中では聞き取れない。直線で400Mはなれている。	潮 見	男性
49	我が地域は、山の麓に位置しており、谷が多く、集中豪雨等で鉄砲水や土石流の災害が起きる可能性があるが、谷川の整備が不十分(部分的にコンクリート側壁が施してあるが、上流が広く、下流が狭くなっている)であるので、整備をお願いしたい。	上 野	女性
50	上流から谷の水がものすごい。水路を作ってもらいたい。	上 野	女性
51	地区内の危険箇所⇒個人の家の崩壊(T宅)	上 野	男性
52	現在、上野自治公民館は建設中なので、避難場所は何処になるのか。	上 野	男性
53	地区指定避難場所には、避難してきた者の宿泊用毛布など、如何ような備品があるのか、町民に公表して頂きたい。	上 野	男性
54	地域の災害危険箇所の周知。そのために各地区の公民館掲示板を活用して地域住民へ広報を実施する。	上 野	男性
55	災害時避難等の伝達がどうなっているか。年1回位は避難訓練等の実施出来ないか？	上 野	男性
56	昼間は近所は高齢者ばかりなので緊急の時の不安があります。(私も老人です)。情報の伝え方など訓練が行われてもいいと思います。	上 野	女性
57	Q12 何について話し合われましたか。⇒1〜4に該当なし。家族と、「台風の対策について」話し合い。	上 野	男性
58	Q10 非常持出し品の準備。⇒1〜8の他に、「ティッシュ・ビニール・スリッパ」を準備している。	上 野	女性
59	防災行政無線については、何か放送があっているようだけど、その内容について、音声は低く聞き取れない。豪雨時には、雨音でまったく聞こえない。(窓を開けて聞いても同様)。	上 野	男性
60	ご近所の方との結びつきが強い程、防災にもつながると思うので、日頃から地域の方との関わり合いを増やすようにしていこうと考えています。	小野原	女性
61	水害等、いつ自分の身にふりかかるかわからない。自然のこわさを知ると(原発なども同じ)、心準備が必要と感じます。	小野原	女性
62	橘公民館が避難場になっているが、河川の氾濫で避難がむずかしい場合があるのでは。	小野原	男性
63	防災行政無線は聞こえたが、但し、豪雨中等は聞こえないと思う。	小野原	男性
64	水害の場合、小野原地区民の大部分は、道路がすぐに冠水する為、避難場所へ避難しようにも行けない。自宅でじっとして水が引くのを待つしかない。但し、二階建居住者はよいが、平屋建住宅居住者は居場所がなく、とても不安であると思う。一刻も早い救出が必要である。	小野原	男性
65	潮見川の堤防の強化の陳情。納手側は強化されたが、東の方(小野原側)はどうなっているのか。東川の増水に対して、片白のポンプアップ稼働状況はどうなっているか。(何時間稼働しているか)。家屋の浸水を極力抑える様に出来ないか。	小野原	不明
66	道路が冠水しないように補修及び河川改修。	小野原	男性
67	豪雨の時、道路が冠水するので身動きできない。小野原区全員だと思う。避難場所へ行きたくても行かれませんか。	小野原	女性
68	最近、防災無線放送で、自主避難等の件が数回あり、またテレビ等では避難準備・指示・勧告など発令されるとよくあります。武雄市でこのような避難指示の判断基準はどのようになっているか知りたい。	小野原	男性
69	避難場所について。地区内でも2ヶ所に分けての避難場所もあるので、この避難場所・方法等について、実情に合った方法を検討すべきと思います。	小野原	男性

その他意見

NO	内 容	行政区	性 別
70	あちこちで思ってもみない様な災害を知り、私も日頃の考えを改めたいと思います。	南檜崎	男性
71	広報を強化してほしい。	南檜崎	男性
72	各班単位で話し合います。(意見を聞き)南檜崎でまとめて返事をして下さい。	南檜崎	不明
73	地震・水害以外での恐怖を体験した事がないので、よくわからない。	北檜崎	男性
74	最近の各地で災害が多発しているのを見ると、いつ自分のまわりでも起きるかもしれない。山の近くに住んでいるため、土石流が一番怖いのですが、どの時点で避難するか判断は難しい。そのあたりの情報を発してもらえると助かる。	北檜崎	男性
75	裏山の土砂災害不安。(テッポウ水)	北檜崎	男性
76	老人で防災に対して身体が即対応が出来ない為、集落の人に世話になると思う。	北檜崎	男性
77	自然災害としては、地震災害が不安です。予知が難しく、もし、震度強になったら、どう対処するか不安です。	北檜崎	男性
78	防災訓練は必要。	北檜崎	男性
79	防災マップの周知を。	北檜崎	男性
80	防災行政無線は、豪雨時には聞こえません。プラス エリアトークが各戸に必要ではないでしょうか。ぜひ、そこまでお願いします。	北檜崎	男性
81	ずっと前から「土石流危険渓流」(佐賀県・武雄市)の標示があるが、これに対し、住民に対して、説明も対策についても周知がなされたことがないようだ。危険の程度がわかれば、心がまえもできてくると思うが。	北檜崎	男性

(4) 参考データ

1. 橘町の人口と世帯数

	世帯数	橘町人口			武雄市人口 (旧武雄市)
		男	女	計	
平成11年 4月末現在 (A)	785	1,492人	1,644人	3,136人	35,373人
平成18年12月末現在 (B)	788	1,339人	1,504人	2,843人	34,169人
平成26年 4月末現在 (C)	755	1,270人	1,392人	2,662人	33,532人
増 減 (C)－(B)	△ 33	△ 69人	△ 112人	△ 181人	△ 637人
伸び率 (C)／(B)	△ 4.19%	△ 5.15%	△ 7.45%	△ 6.37%	△ 1.86%

2. 高齢化率等

	65歳以上人口	高齢化率(%)
平成11年 4月末現在 (A)	730人	23.2%
平成18年12月末現在 (B)	774人	27.2%
平成26年 4月末現在 (C)	844人	31.7%
増 減 (C)－(B)	70人	4.5%
伸び率 (C)／(B)	9.04%	

3. 児童数

	児童数
平成11年5月1日現在 (A)	223人
平成18年4月1日現在 (B)	134人
平成26年4月1日現在 (C)	110人
増 減 (C)－(B)	△ 24人
伸び率 (C)／(B)	△ 17.91%